

飛翔

第53号

CONTENTS

- ・施設特集～リハステーションゆず～…………… 2
- ・平成29年度事業計画…………… 4
- ・平成28年度事業報告…………… 5
- ・ねっとわーく～施設の窓から～…………… 6
- ・平成29年度新規採用職員紹介…………… 10
- ・シリーズ男…………… 12



慈眼寺寿光園 利用者 (M.Sさん) 作品



社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団

Kagoshima Social Welfare Service Corporation

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号鹿児島県社会福祉センター4F

TEL 099-257-7667 FAX 099-259-3939

E-mail j-office@kagoshima-swc.jp URL www.kagoshima-swc.jp

特集

リハステーションゆす

高次脳機能障害のある方の
就労・社会参加を支援します。

平成二十八年四月、鹿児島市内に開設した「リハステーションゆす」は、在宅の高次脳機能障害の方を主たる対象者として、利用者の方の障害特性に応じた認知・言語リハビリテーションや日常生活訓練、社会生活技能訓練、就労準備訓練などの支援を行う事業所です。

高次脳機能障害の方に対する支援については、医療機関におけるリハビリテーションはなされているものの、退院後における在宅でのサービス利用に関しては十分に整備されていない状況があり、利用者の方のニーズに十分に応えられていない実態がありました。

このような状況を踏まえ、当事業団として高次脳機能障害の方のニーズに対し、先駆的な役割を果たすため関係の皆様との御支援のもと、開設に

至りました。

建物は、利用者の方の訓練・作業室を中心に、食堂や個室、介護浴室、グループワーク室を設置し、車いす利用者の方も利用しやすいバリアフリー化された建物となっています。

高次脳機能に障害のある方は身体機能の回復だけでは社会復帰できないために、利用者自ら症状を認識し、それに対応する力を養えるように訓練を行っています。

利用のためのQ&A

Q: どのような方が利用できますか。

A: 18才以上65才未満で高次脳機能障害の診断書がある方です。

ただし、介護保険の認定を受けている方は、各市町村に

お問い合わせください。

Q: 週どのくらい利用できますか。

A: 障害者受給者証に記載しているサービス支給量まで利用できます。

当事業所で継続して訓練していただくためには、週2回からが望ましいです。

また、当事業所の利用者は就労継続B型事業所、就労移行支援事業所を併用されている方々がほとんどです。

Q: 訓練以外のことを教えてください。

A: 当事業所は季節の行事を大切に行っています。グループ活動の一環で季節の飾り物を作成しています。一日遠足に参加、外での活動も充実しています。

高次脳機能障害について

高次脳機能障害とは？

高次脳機能（大脳で営まれる様々な機能）がおかされた状態で、記憶の障害、注意障害、遂行障害、社会的行動障害などの認知障害を主な要因として、日常生活や社会生活への適応に障害をきたします。

記憶障害…物の置き場所を忘れたり、新しいできごとを覚えていられなくなる。そのため、同じことを繰り返し質問したりします。

注意障害…ぼんやりしていて、何かをするミスばかりします。ふたつのことを同時にしようとする混乱します。

遂行機能障害…自分で計画を立ててものごとを実行することがうまくできません。人に指示してもらわないと何もできないこともあります。

病識欠如…自分が障害をもっていることに対する認識がうまくできません。障害がないかのようにふるまったり言ったりします。（その他、失語症、失行症、失認症等があります。）

原因はどのようなものですか？

高次脳機能障害の多くは、交通事故等による外傷性脳障害や脳血管疾患及び低酸素脳症等が主な原因疾患となっています。

理解されにくい（気づきにくい）障害といわれます。

リハステーションゆす 一日の様子

～10:00 **健康チェック**



通所時にバイタルチェックを行い、本日の体調、体温・脈拍・血圧をメモリーノートに記入し、体調等の確認を行います。

10:00～10:45 **ミーティング**



記憶の代償手段として、メモリーノートに本日のスケジュール、本日の目標を記載します。

11:00～11:45 **基礎訓練**



理学療法

外出先で歩行訓練を行い、歩行の自立を図ります。



作業療法

パワーリハビリを使った関節可動域訓練、革・粘土を使った作業活動を行い、上肢機能の改善を図ります。



認知療法

パソコン、机上課題で脳トレーニングを行い、記憶、注意機能を高めます。



心理療法

利用者が自身の力により問題解決ができるように精神状態の改善を図ります。



12:00～13:00 **昼食・休憩**

13:15～15:00 **グループ活動**

日常生活訓練

外出訓練、ゲーム・レクリエーション、創作活動を通して、集団活動に必要なスキルを習得します。



就労準備訓練

就労継続支援B型事業所と連携し、作業耐久性、作業能力の向上を図ります。



15:00～15:20 **ミーティング**

訓練終了後、一日の振り返りを行い、目標に対しての自己評価を行います。



※送迎サービス、入浴サービス等も行っております。詳しくはお問合せください。

リハステーションゆす まずはお気軽にご相談ください。

TEL 099-295-0415

メールアドレス rihayusu@kagoshima-swc.jp

平成29年度事業計画

我が国の経済は、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。

また、本県の景気も緩やかに回復しつつあり、雇用情勢に関しては引き続き改善の傾向にある。

一方、社会福祉を取り巻く環境については、平成28年3月の社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人に対する経営組織のガバナンスや財務規律の強化、更には社会福祉充実残額の再投下等、地域における公益的取組への要請など、これまで以上に公益性の高い法人運営が求められている。また、国及び県の景況及び雇用環境の改善に伴い、福祉・介護分野における人材確保はますます厳しいものとなってきている。

このような中、当事業団においては、平成28年3月に策定した第2期経営計画の2年目として、多種多様な福祉ニーズ等に適切に対応するとともに、改正社会福祉法への的確な対応も図りつつ、自律的かつ自主的な経営を目指して、各般の事業・実施の具体化と計画的な推進を着実に図ることとする。

さらに、各施設においては、鹿児島県社会福祉事業団基本理念（以下「事業団基本理念」という。）及び職員倫理綱領に基づき、質の高いきめ細やかなサービスの提供と自立に向けた支援の充実に努めるとともに、地域における社会福祉事業の担い手として、厳しい競争の原理に耐えうるより水準の高い事業経営を推進する。

1 質の高い福祉サービスの提供

職員全員が事業団基本理念に沿って同じ視点に立ち、利用者が自立して豊かな生活を送れるように専門的なサービスの提供を目指す。また、第三者評価の受審、自立支援計画の充実に図ることにより、より一層のサービスの向上に努める。

2 地域福祉の推進

社会福祉法人の使命である公益的な取組について、既存の事業を発展させるとともに、新たな取組について検討し、具体化した計画に基づき実践する。また、新規事業について、事業団の持つ専門性を活かし、国、地方公共団体等からの業務受託や指定管理、新たな自主事業への取組を検討することにより地域福祉の推進に貢献する。

3 経営基盤の強化

経営指標を理解し、経営状況の把握を通じ、経営に関する意識を向上させ、経営基盤の強化を図る。また、安定した法人経営のため、経営的視点を持つ職員を育成するとともに、コンプライアンス意識の浸透を図り、より社会的に信頼される法人を目指す。

指定管理の最終年度を迎える「鹿児島市南部親子つどいの広場」については、平成30年度からの新たな指定管理に向けて準備を進める。

4 人材の育成

法人、施設の効果的職員研修体系を整備確立し、さらなるサービスの質の向上を目指す。また、定期的な職員満足度調査により、働きやすくやりがいのある職場づくりに努めることにより、人材確保と人材育成の強化を図る。

5 法人の一体的経営

事業団基本理念の理解と実践を全職員へ浸透させ、施設経営や運営を強固なものにするとともに、改正労働契約法に基づく無期労働契約への転換期限を控え、新たな雇用形態について検討する。

施設整備については、チャイルドクラブあおぞらの全面改築について基本構想に基づき設計を進めるとともに、仁風学園について、全面改築に向けた基本構想の策定を行う。



平成28年度事業報告

我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続いている。

一方、社会福祉を取り巻く環境については、平成28年3月の社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人に対する経営組織のガバナンスや財務規律の強化、さらには地域における公益的取組への要請など、これまで以上に公益性の高い法人運営が求められている。

このような中、当事業団においては、さらなる県民福祉の増進や福祉サービスの質の向上に引き続き努めるとともに、永続的に事業団に与えられた使命を果たしていくために新たに策定した「鹿児島県社会福祉事業団第二期経営計画」の初年度として、計画に掲げる5つの経営課題について、それぞれ設定した推進目標の達成に向けた取組を推進した。

さらに、各施設においては、鹿児島県社会福祉事業団基本理念及び職員倫理綱領に基づき、利用者や地域等のニーズを的確にとらえ、質の高いきめ細やかなサービスの提供と自立に向けた支援の充実に努めるとともに、地域における社会福祉事業の担い手として、より高い水準の事業経営に努めた。

1 質の高い福祉サービスの提供

職員全員が事業団基本理念に基づき同じ視点に立ち、利用者が自立して豊かな生活を送ることができるように、基本理念のより一層の周知を図るとともに、個別支援計画の作成マニュアル等を活用して各施設で研修会を実施するなど、専門的なサービスの提供を行った。

また、児童養護施設において第三者評価を受審したほか、接遇マナーの向上を推進するなど、より一層のサービス向上を図った。

2 地域福祉の推進

社会福祉法人の使命である公益的な取組について、国が示した定義に基づき、事業団としての取組を明確化するとともに、今後の取組についての検討を行った。

新規事業については、平成28年4月、高次脳機能障害者を主たる対象とした障害福祉サービス事業所「リハステーションゆす」を鹿児島市内に開設した。

3 経営基盤の強化

経営指標を理解し、目標値の達成への取組や月次実績の分析を行うため、月次報告に関する会議を4回実施するとともに、財務諸表の活用による経営状況の把握など、職員の経営に関する意識の向上を図った。

4 人材の育成

喫緊の課題である人材確保について、事業団のPRのためのDVDを作成し、就職ガイダンス等

において活用するとともに、実習生の受け入れや養成校への訪問など、積極的な広報活動を実施した。

人材の育成については、職員研修規程に基づき全体研修や階層別研修を実施するとともに、研修内容を通じて職員の帰属意識の向上を図った。

5 法人の一体的経営

経営計画の効率的かつ効果的な進捗を図るため、実施体制を再編整備するなど、経営計画の目標別実施計画による進捗管理を行うとともに、組織体制の再編整備や養護老人ホームのあり方に関する検討を行った。

施設整備については、「母子生活支援施設全面改築工事」が完了したほか、チャイルドクラブあおぞらの基本構想を策定した。

6 理事会等の開催状況

理事会及び評議員会を開催し、事業計画・事業報告、予算、決算、定款変更、諸規則等の改正、理事の選任、評議員の委嘱、施設長の任免等、法人の業務に関する重要事項について、審議を行った。



ねこやま

施設の窓から

児童養護施設 仁風学園

工事車両体験

建設会社の有志による和合会のみなさんが来園され、幼児から小学生を中心に工事車両体験を行いました。

和合会の方の運転でダンプカー・ショベルカー・高所作業車・トラクタなどが次々と当園駐車場に乗り入れられ、色々な車輛に子ども達は興味津々でした。

当日は天候にも恵まれ、子ども達は思い思いの自分の乗りたい車輛の所に並び、和合会の方の補助を受けながら車輛の運転を体験しました。

幼児の一人は、ショベルカーに和合会の方と一緒に乗り込み、普



段触ったことのない操作レバーで土を掘る度に驚き、またある小学生は、最初は高所作業車のゴンドラに乗り込むのを怖がっていました。



したが、ゴンドラが約二〇mの高さまで上がると、いつもとは違う風景を見て歓声を上げていました。トラクタでは和合会の方と一緒に子ども達が運転席に座りハンドルを操作し、クラクションを押すと自分達の予想以上の音がしたのか多くの子ども達がびっくりしている様子でした。

子ども達は工事車両体験が終わると「将来はトラクタを運転する人になりたい」、高所作業車に乗った子どもからは「学園が小さくみえた」と色々な感想が寄せられました。

普段、体験することができない貴重な時間を過ごすことができ子ども達にとって良い思い出となった一日でした。

児童指導員 田畑 将基

児童養護施設 若葉学園

なでしこクッキング

「今日の夕食は何を作ろうか？」と毎週土曜日の午後は、子ども達のにぎやかな声が聞こえてきます。

小規模グループケアの取り組みを行っているなでしこユニットでは、今年の二月より『なでしこクッキング』が始まりました。この『なでしこクッキング』では、なかなか食事を作る機会の少ない子ども達が、家庭的な雰囲気味わうための取り組みで、子ども達と一緒に夕食のメニューを決めてから、食材の購入に出掛け、高校生が中心となってクッキングを行います。子ども達は、試行錯誤しながら、栄養バランスや彩り等を工夫し、美味しい食事を作ります。



小学生の子ども達も美味しそうに誘われ、キッチンに顔をだし、高校生のお姉さん達や職員

が料理を作っている様子に興味津々で、なかなか側を離れませんでした。お好み焼き等のメニューによつては、全員でプレートを囲んで料理を作ることができます。出来上がったばかりの食事を全員で囲み、食事中は学校での出来事等が話題になり、話が尽きることはありません。

子ども達の間では、料理を作ってくれた高校生に対して「料理を作ってくれてありがとう」とお礼を言うことから食べ始める光景も見られるようになりました。また子ども達は、自分達で九名分の食事を作る機会ができたことで、調理の職員へ感謝の気持ちを口にすることがになりました。料理を通して、思いやりの気持ちをもてるようになったことを職員として嬉しく感じます。

これからもなでしこユニットの良さである家庭的な雰囲気の中で、子ども達が様々な経験ができるような支援に努めていきたいと考えています。

児童指導員 平原 侑佳

養護老人ホーム 慈眼寺寿光園
清谿幼稚園児との交流会

六月一日の慈眼寺寿光園の開園記念日に、清谿幼稚園との交流会を行いました。

利用者の方は、朝から園児さん達の来訪を今か今かと待っておられ、賑やかな声が聞こえてくる。「来てくれたね」と大喜びでした。

食堂ホールに入場してきた園児さん総勢六十四名が、舞台の前に整列してホール全体に響きわたるような大きな声で挨拶をした後、元気に歌い始めました。「かたつむり」「しゃぼん玉」の二曲を歌うと、利用者の方もその歌声に合わせて手拍子をとって、「グーチョキパーで踊っちゃお」では園児さん達の踊りを、見よう見まねで体を動かすなど上機嫌な姿が見られました。徐々に和んできた頃合い



で、園児さん達が舞台から下りて来て、音楽に合わせて利用者一人ひとりの前で踊ると、利用者の方も笑顔を見せながら、歌ったり、踊ったりと一体感が出てきました。楽しい時間が過ぎていく中で「私、あなたより九十歳年上なのよ」「へえ」と笑い合う会話が聞こえるなど微笑ましい光景が拡がりました。発表を終えた後、園児さん達から心を込めて作った手作りのお花のプレゼントに利用者の方も大喜びでした。

そして、利用者の方からも、園児さん達へお礼の気持ちを含めて、お菓子や鯉のぼりの壁掛けを贈り、素敵な交流会は終了しました。

婦人保護施設

ささやかな日常

園児さん達との交流会は、今回が初めてでしたが、今後も継続できるよう、地域に開けた行事の展開、地域貢献等に繋げていけたらと考えています。

支援員 児玉 恭子

五月十三日、川内自興園ふれあい春まつりに行ってきました。参加された利用者の方々は、グラウンドに広がる花を前に明るい笑顔を見せ、「どんな花がいいかな」「色は何色がきれいかな」

などテラスで咲いた時のイメージを膨らませながら、色とりどりの中から好きな花を選び購入しました。

購入した花は、利用者の方と職員



員が一緒にプランターへ植え替えることになりました。

土を袋から出すことから張り切つて始めましたが、重さがあり、徐々に姿勢のきつさを訴える声が聞こえてきました。



「これでいいかな」「土が少ないですね」など声を掛け合いながら、協力して植えつけていきます。

一時間ほどかかり、プランター十個分ほどに花の配置を考えながら、なんとか植え付けが終わりまりました。

毎日、朝と夕方の決まった時間に水やりをしながら「葉っぱが大きくなった！」「つぼみが増えたね」「花が咲いた！」と愛情を込めた花が、日に日に生長する様子を感じながら心が癒されているようです。

自分たちで世話をする花を眺めながら、初夏の穏やかな時間が流れています。

主査支援員 坂上 正代

保育所 同胞保育園

幼児クラスに進級して

今年も春の日差しを沢山浴びた桜の木が新入園児を迎え、新年度が始まりました。

一つずつ大きいクラスになった子ども達。入進級式ではキラキラした表情を見せながらこれから始まる園生活に期待と胸を膨らませ、また少し頼もしくなった姿が感じられました。

私は、この春から三歳児クラスを担当させていただき、前年度からの持ちあがりの子ども達と共に日々新しい事に挑戦し、経験を積んでいるところです。そんな中、幼児クラスになると毎月の行事が増え、英語であそぼうや運動教室、リズム体操等、講師の方を招いた行事に参加しています。



先日、初めてリズム体操に参加しました。子ども達は幼児クラスになったら体操服を着るようになっており、行事の前から家庭で試着している話を保護者からよく耳にし、体操服を着てリズム体操をする日を心待ちにしていたようです。

初めてのリズム体操は、年長組のお兄さん、お姉さんのお手本を見ながら一緒に取り組みました。緊張でなかなかいつもの元気の良さがでない子ども達でしたが、次第に楽しい音楽と身体の動きで表情にも柔らかさがでてきました。気付けばあつという間に終わりの時間。沢山身体を動かし、すっきりとしたようでした。

初めての体験は、誰しも緊張してしまうのですが、音楽の力、人と人が触れ合う力で楽しい時間を過ごすことが出来ました。

新しいクラスがスタートしてまだ二カ月ですが、これから更に沢山の経験を通して心も体もぐんと成長する姿が楽しみです。
保育士 千代森 葵

保育所 鹿児島みなみ保育園

わくわくドキドキ園外活動

子ども達がとても楽しみにしていた園外活動の日。今回は、公共交通機関を利用すること、車内のルールやマナーを学び身につけることを目的に年長クラス二十三名で初めて電車、フェリーを利用して桜島まで行きました。電車は貸し切りでしたが、立ち上がったたり大声を出したりすることなく景色を眺めながら会話を楽しむことができました。桜島フェリーでは、初めてフェリーを利用する子どももあり、船内の展望台から眺める



「かんまちあ」
鹿児島市上町ふれあい広場と上町杜公園を合わせた愛称

広い海や目の前に見える大きな桜島に大興奮でした。桜島に到着し、足湯に入り、「温泉みたいだね。」「気持ちいいね。」と大喜びでした。帰りのフェリーでは、美味しそうなんどの匂いに誘われ「お腹空いた〜」から始まり、いつの間にかうどん屋さんに大変身。うどん屋さんごっこを楽しみ子ども達の姿がとても微笑ましい光景でした。

その後、「かんまちあ」にて楽しみにしていたお弁当の時間！残さず綺麗に完食した後は、緑の綺麗な芝生で鬼ごっこやかけっこを楽しみました。

帰りの電車の中では、先程までの元気いっぱいだったのが嘘のように、電車で揺られスヤスヤ眠る子ども達・・・寝顔もとても可愛かったです。



「そろそろ卒業かな」と、寂しうらにつぶやくことも耳にします。子どもは新しい場所に期待いっぱい出かけていきますが、お母さん達は、そう簡単にはいかないよ

「お帰りなさい」「ただいま」

鹿児島市南部親子つどいの広場

公共交通機関でのマナーを学ぶとともに、保育園生活最後の年の思い出がまた一つ増え、嬉しく思うことでした。

保育士 金城 美乃里



うです。スタッフと話をしたり、時には相談したり、日々の事を気軽に何でも話す事のできるこの場所、空間はとても大事なのだと話されます。

就園、就学、引越し、様々な理由であまり見かけなくなつた方はたくさんいますが、「お久しぶりです！」と成長した子どもの姿を見せに来館される方も、たくさんいます。そんな時はいつも

「お帰りなさい」「ただいま」の挨拶が始まるたにっこりん。この地域で着実に定着してきたことを感じていきます。

これからも、「たにっこりんにちよっと遊びに行つてみようかな」と、気軽に行ける場所でありたいと思っています。

保育士 江崎 恵理

障害者支援施設 川内自興園
ドレスアップ誕生会

今年の誕生会は、薩摩川内市社会福祉協議会からウエディングドレスやカクテルドレスを貸し出していただき、女性らしい身だしなみや立ち振る舞いをする事で喜びを感じて頂けるような会を企画しました。

誕生会の当日、ご自分で選んだドレスに着替え、職員がヘアスタイリング、メイクアップを施しました。初めてドレスを着る利用者の方もおられ、最初は少し緊張した表情が見られましたが、ドレスを身に纏った自分の姿を見て、「自分じゃないみたい」、「綺麗」と



少し恥ずかしそうにされながらも喜ばれていました。ドレス姿の利用者の方々を見て他の利用者の方々も「はやく着たいな」、「可愛いね」、「綺麗だね」と言われ、ご自分の誕生会を楽しみにされている様子が伺えました。

写真撮影時「園長と撮りたい！」と利用者の方からの要望があり、園長もスーツを着て一緒に撮影をしました。撮影をする時に園長と見つめあうなど、たくさん笑顔が溢れる素敵な時間を過ごすことができました。着る機会があまりないドレスを着ることで、女性としての喜びや楽しみを職員も一緒に味わうことができました。

今後も利用者の方々が充実した生活を送ることができるよう楽しい行事を企画し、利用者の方々の笑顔を大切に支援していきたいと思えます。

支援員 北野 綾美



平成29年度 新規採用職員紹介

- ①氏名
- ②勤務先・職名
- ③特技・趣味
- ④リフレッシュ法
- ⑤自己アピール・抱負

- ① 生見 博志
(めくみ ひろし)
- ② 事務局 常務理事兼事務局長
- ③ ジョギング、家庭菜園、NHK朝の連ドラ
- ④ ジョギング。毎晩の芋焼酎でのダレヤメ。
- ⑤ 職員の皆さんが自分の職場をより好きになるように、明るい職場環境づくりに努めたい。



- ① 有川 祐悟
(ありかわ ゆうご)
- ② 仁風学園 児童指導員
- ③ 育児の手伝い
- ④ 休みの日に子どもと遊びながら過ごすこと。
- ⑤ 自分から積極的に話しかけ、働きやすい職場づくりを心がける。



- ① 佐藤 真也
(さとう しんや)
- ② 仁風学園 児童指導員
- ③ 酒蔵巡り
- ④ 温泉でサウナと水風呂を往復すること。
- ⑤ 何事にも前向きに取り組み、自分が正しいと思うことは諦めず何度でも挑戦していきたいです。



- ① 富永 野々花
(とみなが ののか)
- ※H28年10月1日 採用
- ② 仁風学園 児童指導員
- ③ けん玉
- ④ 長風呂、ひたすら寝ること
- ⑤ 笑顔第一に心掛け、一生懸命頑張ります。やる気・元気は負けません！



- ① 餅原 舞
(もちはら まい)
- ② 仁風学園 児童指導員
- ③ 書道
- ④ 映画鑑賞
- ⑤ 周りの方に迷惑がかからないよう常に先のことを考えて動くようにし、気配りができるように頑張りたい。



- ① 濱平 由紀
(はまひら ゆき)
- ② 慈眼寺寿光園 支援員兼訪問介護員
- ③ 食べること・切手収集
- ④ 甘い物を食べてリラックスする曲を聴きながら寝る子供と触れ合う
- ⑤ 人見知りですが、人が大好きです。アニメおたくに歴女です。笑顔で一人の思いを大切に支援する事を、かねてより心掛けております。早く仕事に慣れ、慣れても“初心を忘れるべからず”で頑張りたいと思います。よろしくお願致します。



- ① 日高 昂平
(ひだか こうへい)
- ② 若葉学園 児童指導員
- ③ 特技…球技
趣味…スポーツ観戦、読書
- ④ 風を浴びる。寝る。サウナと水風呂
- ⑤ 楽しみながらも、責任感をもち、取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願致します。



- ① 柿内 真沙子
(かきうち まさこ)
- ② 同胞保育園 保育士
- ③ 映画鑑賞
- ④ 友達とランチに行くこと
- ⑤ 子どもに愛情を持って関わり、笑顔を絶やさない保育士を目指します。よろしくお願いします。



- ① 枝本 葉子
(えだもと ようこ)
- ② 同胞保育園 主事
- ③ バトミントン・写真、釣り
- ④ 体を動かすこと
- ⑤ 事業団の一員として独り立ちできるように、笑顔を忘れず精一杯頑張ります。



- ① 図師 麻衣
(ずし まい)
- ② 同胞保育園 保育士
- ③ 音楽鑑賞
- ④ 好きなアーティストのライブDVDを見ること
- ⑤ 初めてのことばかりですが、何事も一生懸命取り組んでいきたいと思ひます。



- ① 桐原 美明
(きりはら みあき)
- ② 同胞保育園 保育士
- ③ ピアノを弾くこと・音楽鑑賞
- ④ 旅行・買い物
- ⑤ 笑顔を忘れず何事も積極的に取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願いします。



- ① 倉園 茂樹
(くらぞの しげき)
- ② ゆすの里 園長
- ③ ウォーキング
- ④ 毎日の晩酌
- ⑤ できるだけ早く仕事に慣れ、職員の皆さんと一緒に一生懸命頑張っていきたいと思ひます。



- ① 瀬ノロ 聡子
(せのぐち さとこ)
- ② 鹿児島みなみ保育園 主事
- ③ 読書・スポーツ観戦 絶対音感（最近少し衰えている気がします）
- ④ 息子とお出かけ、スポーツめぐり、温泉
- ⑤ いつも笑顔でいること、前向きでいること
反省はするが、後悔はしない！がモットーです。毎日子どもたちが周りにいる職場は新鮮です。園児とそのご家族、そして保育士の皆さんのサポートができるよう責任感をもって取り組みます。そのためには健康第一で頑張ります。



- ① 上村 良平
(かみむら りょうへい)
- ② ほくさつ障害者就業・生活支援センター 支援員
- ③ サッカー観戦
(現地にて応援)
- ④ 音楽鑑賞、ドライブ
- ⑤ 利用者の皆様や地域の皆様に信頼される支援員になれるように一生懸命頑張ります。



- ① 阿久根 佑季
(あくね ゆうき)
- ② 川内自興園 支援員
- ③ テニス・音楽鑑賞
- ④ 犬の散歩
- ⑤ 利用者の方々とのコミュニケーションを大切に、これからの事業団職員として頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願いします。





かごしま
就業・生活支援センター
所長
山本 耕一さん

今回は、かごしま就業・生活支援センターの山本所長にお話を伺いました。

Q. これまでの事業団生活で一番印象に残っていることは

A. 平成二十年度当時県が運営していた知的障害者更生施設「川内厚生園」が当法人に移譲されることになり、先輩職員と五名で出向し引継ぎをし、その後当法人の施設として平成二十一年四月から支援に携われたことです。

移譲される際果たして利用者の方に安心してもらえるだろうか、十分な支援ができるだろうか、保護者等にご理解いただけるだろうか、と日々悩みながら業務にあたっていたことを思い出します。大変貴重な体験をさせていただいたことは自分のその後の仕事の糧になっています。

Q. 今興味のあることは何ですか？

A. 趣味は写真撮影です。約二十年続けています。

下手でも好きなのでしようね。被写体は主に風景で、特に世界自然遺産

である屋久島には、毎年夏休みを利用して屋久杉に会いに行きパワーをもらっています。また、鳥の撮影も好きで、冬場は出水市に飛来するツルや野鳥の撮影をしています。気に入った



ショットをものにした時の気分は最高です。現在は、写真撮影を続けるためにダイエットに励んでいます。なかなか成果が出ませんが。(笑)

Q. 後輩に伝えたいことがありますか？

A. これからは、まさに「ワークライフバランス」の時代だと考えています。自分の生き方や趣味、家族等それぞれが大事にしているものと仕事とのバランスを取りながら、仕事にも頑張っていく。

休みをきちんと取得し、リフレッシュし、また仕事にも励む。課題が多い社会の中で無理をせず仕事をすすめていくためには、職員間のお互いを思いやる気持ちも大切で、協力して頑張ることです。それが利用児者の支援にも反映されると思いますよ。

穏やかな口調で答えてもらいました。ありがとうございます。

インタビューー

婦人保護施設 坂上 正代

おもいを大切に

平成七年一月一日に社会福祉法人鹿児島県社会福祉事業団機関誌「飛翔 創刊号」が発行されました。

当時の伊牟田茂夫理事長の「事業団の事業、行事、動向等について、職員や関係団体等の理解を深める情報発信機能を作りたい」という「おもい」から「飛翔創刊号」が発行されました。

創刊号から二十二年を経過し今回、「飛翔第五十三号」の発行を無事迎えることができました。今後も伊牟田元理事長の「おもい」を大切に、機関誌「飛翔」を未来へつなげていきたいと思っております。

平成二十九年四月二十二日伊牟田元理事長が逝去されました。

職員一同これまでの感謝とご冥福をお祈り申し上げます。



題字 伊牟田茂夫元理事長



苦情解決の対応状況

平成 28 年度に受け付けた当事業団苦情対応規程に基づく苦情の件数は、事業団全体で 38 件でした。

施設種別	苦情 件数	苦情申出人				苦情種別内訳						
		利用者	家族	代理人	その他	職員の 接遇	サービスの 質量	利用料	説明・ 情報 提供	被害・ 損害	権利 侵害	その他
児童養護施設	4		3		1	3						1
養護老人ホーム	5	2	3			1			2			2
婦人保護施設	5	4			1		3		1			1
保育所	6		6			2	4					
地域子育て支援拠点事業	2	2				2						
母子生活支援施設												
障害者支援施設	16	12	3		1	10	2					4
合計	38	20	15		3	18	9		3			8

寄せられた苦情に対しましては、「相談・苦情対応マニュアル」に従い迅速かつ適切に対応し解決しています。
今後も利用者・関係者の皆様からの声（相談・苦情）を大切に受け止めサービスの向上に努めていきます。

役員名簿

役職名	氏 名	現 職 名 等
理事長	森 秀 樹	
常務理事	生見 博志	(事務局長兼務)
理 事	内門 公孝	前 鹿児島県社会福祉協議会 常務理事
//	西井上 誠	鹿児島県社会福祉協議会 常務理事
//	斉野 繁	鹿児島県民生委員児童委員協議会 会長
//	田中 正幸	鹿児島県共同募金会 常務理事兼事務局長
//	徳永 千早	若葉学園長
監 事	野間 健三	元 県立牧ノ原学園長
//	池田 利博	元 仁風学園長

評議員名簿

役員名	氏 名	現 職 名 等
評議員	諏訪 弘美	元 鹿児島県社会福祉協議会 常務理事
//	松田 典久	日本赤十字社鹿児島県支部 事務局長
//	渡邊 正人	鹿児島県民生委員児童委員協議会 副会長
//	坂口眞理子	鹿児島県身体障害者福祉協会 常務理事兼事務局長
//	小城 親治	鹿児島県手をつなぐ育成会 常務理事兼事務局長
//	梶山 勉	鹿児島県老人クラブ連合会 常務理事兼事務局長
//	塩田兼一郎	鹿児島県保健福祉部次長
//	前田 洋一	鹿児島県県民生活局次長

平成 28 年度 決算報告

資金収支計算書

平成 29 年 3 月 31 日現在（単位：円）

勘定科目	予 算	決 算	差 異	
事業活動による収支	事業活動収入計	1,924,505,000	1,896,069,130	28,435,870
	事業活動支出計	1,795,517,000	1,695,674,644	99,842,356
	事業活動資金収支差額	128,988,000	200,394,486	△ 71,406,486
施設整備等による収支	施設整備等収入計	172,305,000	179,136,999	△ 6,831,999
	施設整備等支出計	321,249,000	309,205,824	12,043,176
	施設整備等資金収支差額	△ 148,944,000	△ 130,068,825	△ 18,875,175
その他の活動による収支	その他の活動収入計	130,189,000	108,358,859	21,830,141
	その他の活動支出計	152,804,000	151,307,234	1,496,766
	その他の活動資金収支差額	△ 22,615,000	△ 42,948,375	20,333,375
予備費支出	0	0	0	
当期資金収支差額合計	△ 42,571,000	27,377,286	△ 69,948,286	
前期末支払資金残高	404,954,000	404,953,561	439	
当期末支払資金残高	362,383,000	432,330,847	△ 69,947,847	

事業活動計算書

平成 29 年 3 月 31 日現在（単位：円）

勘定科目	当年度決算	前年度決算	差 異	
サービス活動増減の部	サービス活動収益計	1,874,877,493	1,902,527,608	△ 27,650,115
	サービス活動費用計	1,794,178,308	1,760,879,866	33,298,442
	サービス活動増減差額	80,699,185	141,647,742	△ 60,948,557
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計	20,868,153	30,279,590	△ 9,411,437
	サービス活動外費用計	1,225,381	1,500,000	△ 274,619
	サービス活動外増減差額	19,642,772	28,779,590	△ 9,136,818
経常増減差額	100,341,957	170,427,332	△ 70,085,375	
特別増減の部	特別収益計	179,136,999	293,355,800	△ 114,218,801
	特別費用計	267,929,313	222,450,794	45,478,519
	特別増減差額計	△ 88,792,314	70,905,006	△ 159,697,320
当期活動増減差額	11,549,643	241,332,338	△ 229,782,695	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	1,308,157,062	932,588,933	375,568,129
	当期末繰越活動増減差額	1,319,706,705	1,173,921,271	145,785,434
	その他の積立金取崩額	100,000,000	282,560,791	△ 182,560,791
	その他の積立金積立額	122,800,000	148,325,000	△ 25,525,000
	次期繰越活動増減差額	1,296,906,705	1,308,157,062	△ 11,250,357

貸借対照表

平成 29 年 3 月 31 日現在（単位：円）

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	549,823,817	1,056,350,425	△ 506,526,608	流動負債	163,226,922	697,220,292	△ 533,993,370
固定資産	4,255,428,429	4,121,785,906	133,642,523	固定負債	258,560,292	257,256,586	1,303,706
				負債の部合計	421,787,214	954,476,878	△ 532,689,664
				純資産の部			
基本財産	3,661,740,507	3,404,190,789	257,549,718	基本金	531,752,699	531,752,699	0
				国庫補助金等特別積立金	2,383,680,628	2,235,424,692	148,255,936
				その他の積立金	171,125,000	148,325,000	22,800,000
その他の固定資産	593,687,922	717,595,117	△ 123,907,195	次期繰越活動増減差額	1,296,906,705	1,308,157,062	△ 11,250,357
				純資産の部合計	4,383,465,032	4,223,659,453	159,805,579
資産の部合計	4,805,252,246	5,178,136,331	△ 372,884,085	負債及び純資産の部合計	4,805,252,246	5,178,136,331	△ 372,884,085

財 産 目 録

平成 29 年 3 月 31 日現在（単位：円）

資産・負債の内訳		
I 資産の部		
流動資産		619,932,981
固定資産		4,255,428,429
	資産の部合計	4,875,361,410
II 負債の部		
流動負債		233,336,086
固定負債		258,560,292
	負債の部合計	491,896,378
	差引純資産	4,383,465,032

夏バテに効く！おいしい！簡単レシピ 豚肉の梅しそ長芋巻き焼き

お役立ち情報
簡単
レシピ

レシピ【2人分】

- 豚バラ肉…………… 10枚
(生姜焼用の豚ロースでも良いです)
- 長芋…………… 10cm
- 大葉…………… 10枚
- 梅干し(練り梅チューブ) …… 適量
- 塩コショウ…………… 適量
- 小麦粉…………… 適量
- オリーブ油(サラダ油でも良い) …… 適量
- 料理酒…………… 適量
- 濃口しょうゆ…………… 適量

- ①長芋は豚肉の横幅に合わせて短冊に切る。
- ②大葉は半分に切り、梅干しは種を取りたいいてペーストにする。
- ③豚肉は広げ塩コショウをする。大葉を敷き、長芋・ペーストにした梅のをセクルクル巻く。



- ④巻いた豚肉に小麦粉をまぶし、熱したフライパンに油を敷き巻き終わりを下にして焼いていく。
- ⑤焼き目が付いたらフライパンに酒としょうゆを入れて蒸し焼きにする。
- ⑥豚肉に火が通ったら出来上がり。食べやすい大きさにカットして盛り付ける。



※豚肉はビタミンB1が豊富で、疲労回復に効果的です。にんにくのアリシンと一緒にすると、吸収力がアップして疲労回復効果が高まります。
 ※長芋のねばねば成分ムチンも、疲労回復に有効です。

☆食欲の落ちる夏場、しその香や梅干しの酸味は、五感を刺激して食欲を湧かせます。

ちょっと気になるニュース。

今年の夏も暑くなる・・・ 2017年はスーパー猛暑の予想！！



毎日お仕事お疲れ様です！！今回から新連載(超不定期企画)「ちょっと気になるニュース。」と題してちょっと気になったことを掲載していきますのでお楽しみください。

気象庁の長期予報によると、2017年の夏(7月～9月)は全国的に平均より気温が高くなる見込みとのことでした。(勘弁してくださいですね。)

そこで今回は、天気予報で良く耳にする猛暑日、真夏日、夏日、熱帯夜について具体的な温度や定義を調べてみました。

気象庁が定義している予報用語は次の通りです。

予報用語	定義
猛暑日	日中の最高気温が 35℃以上の日
真夏日	日中の最高気温が 30℃以上の日
夏日	日中の最高気温が 25℃以上の日
熱帯夜	夜間の最低気温が 25℃以上のこと

※スーパー猛暑は予報用語にありません。
とりあえず猛暑日以上に暑いということでしょう…

そこで気になるのが熱中症

熱中症が疑われる人を見かけたら

- 涼しい場所へ～エアコンが効いている室内や風通しの良い日陰など、涼しい場所避難させる。
- からだを冷やす～衣服をゆるめ、からだを冷やす。(特に首の回り、脇の下、足の付け根など)
- 水分補給～水分・塩分・経口補水液®などを補給する。
※水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの
- 自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう。

しっかりと栄養と睡眠をとって2017年スーパー猛暑を乗り切りましょう。

施設名	職名	氏名	
事務局	常務理事兼事務局長	南園 隆夫	左から2番目
ゆすの里	園長	佐藤 文彦	左から1番目
母子生活支援施設	寮長	松山 美朗	右から2番目
同胞保育園	保育士	増満 誠郎	右から1番目

※平成29年3月31日付け退職



お疲れ様でした

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団の概要



基本理念

一人ひとりのおもいを大切にします

私たちは、利用者や地域のみなさん一人ひとりの、それぞれのおもいを大切にしていけます

みなに笑顔を届けます

私たちは、みなさんすべてに、心からの笑顔が生まれるよう努めていきます

地域のくらしを守ります

私たちは、地域のみなさんの、自分らしく、生きがいのあるくらしを支えています

施設位置	施設種別	施設・事業所名	所在地	利用定員(名)
①	法人本部	事務局	〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階 TEL099-257-7667 FAX099-259-3939 E-mail j-office@kagoshima-swc.jp	—
②	児童養護施設	仁風学園	〒891-1304 鹿児島市本名町458-1 TEL099-294-2354 FAX099-294-4410 E-mail jinpu@kagoshima-swc.jp	100
③	児童養護施設	若葉学園	〒899-5411 始良市鍋倉190番地2 TEL0995-65-4313 FAX0995-65-4609 E-mail wakaba@kagoshima-swc.jp	88
④	養護老人ホーム	慈眼寺寿光園	〒891-0146 鹿児島市慈眼寺町16番地7号 TEL099-268-2514 FAX099-267-7981 E-mail jigenji@kagoshima-swc.jp	70
	老人居宅介護事業	訪問介護ステーション寿光園		—
	老人デイサービス事業	デイセンター寿光園		10
—	婦人保護施設	—	—	30
⑤	保育所	同胞保育園	〒892-0819 鹿児島市柳町3番地3 TEL099-222-2654 FAX099-222-2694 E-mail douhou@kagoshima-swc.jp	150
	地域子育て支援拠点事業	上町わくわくランド		—
	放課後児童健全育成事業	同胞学童クラブ		—
⑥	保育所	鹿児島みなみ保育園	〒890-0068 鹿児島市東郡元町18番地3 TEL099-253-3145 FAX099-253-3146 E-mail k-minami@kagoshima-swc.jp	110
⑦	地域子育て支援拠点事業	鹿児島市南部親子つどいの広場 (たにっこりん)	〒891-0117 鹿児島市西谷山1丁目3-2 TEL099-266-6501 FAX099-266-6502 E-mail tanikkorin@kagoshima-swc.jp	—
—	母子生活支援施設	—	—	20世帯
⑧	障害者支援施設	ゆすの里	〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1番1号 TEL099-273-4175 FAX099-273-4177 E-mail yusunosato@kagoshima-swc.jp	日中活動 80 施設入所 70
	特定相談支援事業	ゆす		—
⑨	指定障害福祉サービス事業 (指定生活介護)	リハステーションゆす	〒892-0836 鹿児島市錦江町3番7号 TEL099-295-0415 FAX099-295-0453 E-mail rihayusu@kagoshima-swc.jp	20
⑩	障害者支援施設	川内自興園	〒895-0007 薩摩川内市百次町1110 TEL0996-22-4801 FAX0996-22-4803 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	日中活動140 施設入所100
	指定障害福祉サービス事業 (指定共同生活援助)	川内ひまわりホーム	〒895-0007 薩摩川内市百次町1092-3 TEL0996-20-1261 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	30
	特定相談支援事業 障害児相談支援事業	あおぞら	〒895-0007 薩摩川内市百次町1092-3 TEL0996-22-5006 FAX 0996-22-5008 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	—
	障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス事業)	チャイルドクラブ あおぞら	〒895-0007 薩摩川内市百次町1110 TEL0996-21-1517 FAX0996-21-1518 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	10
⑪	障害者就業・生活支援センター事業	かごしま障害者就業・生活支援センター	〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16番217号 県住宅供給公社ビルC棟2階217号室 TEL099-248-9461 FAX099-248-9462 E-mail kssc@kagoshima-swc.jp	—
⑫	障害者就業・生活支援センター事業	ほくさつ障害者就業・生活支援センター	〒895-0027 薩摩川内市西向田町11番26号 TEL0996-29-5022 FAX 0996-29-5033 E-mail hssc@kagoshima-swc.jp	—